

●特集 1：Ai ロボットプロジェクト

プロジェクト紹介

中京大学工学部教授・人工知能高等研究所 MVR ラボ委員会副委員長
鈴木 常彦



1 背景

2017 年の RoboCup 世界大会を名古屋に誘致する考えを河村市長が明らかにした 2014 年、MVR ラボ委員会ではその機運を高める活動として、2017 年度までの時限で「Ai ロボットプロジェクト」(愛にかけて i は小文字)を運営することを決定しました。

プロジェクトの名称は、20 年前に故福田晃夫先生のご尽力を求心力として名古屋国際会議場で開催された人工知能国際会議 (IJCAI) と同時開催で第一回の RoboCup 世界大会が行われたことに因んでつけられました。

2 目的

本プロジェクトでは目的を「2017 年 RoboCup 名古屋世界大会に向け、ロボットおよびこれに関わる AI 技術研究への支援を行うことを目的とし、このプロジェクトを通じて、中京大学および人工知能高等研究所 (IASAI) の研究活動をコンテスト・展示会等のイベントを通じて国内外に発信すること」として活動を行いました。

3 内容

プロジェクトでは目的にあった活動への資金の支援を 2014 年度の試行から始めて 2017 年度まで 4 年間行いました。「ロボットまたはロボットに関わる AI 技術の研究」の発案者が個々の単年度プロジェクトとして予算申請したものを事務局である MVR ラボ委員会が審査しました。条件は以下の通りです。

- ・ 申請代表は人工知能高等研究所の所員または準所員、プロジェクト構成員は人工知能高等研究所所員・準所員・学生・院生・研究生・卒業生、学内外の研究者とする
- ・ 活動期間は 1 年 (4 月～翌年 3 月) とする
- ・ 2014 年に簡易試行を行い、2015 年、2016 年、2017 年の各単年度の支援とし、2018 年度以降は見直す
- ・ 活動の成果はロボットまたはこれに関わる AI 技術のコンテスト・展示会などのイベントで発表することが望ましい
- ・ 学内での成果発表会も MVR ラボ委員会として企画する
- ・ 助成金額は個人は一件 25 万円、グループ (学生は数えない) は一件 50 万円とし、総額 100 万円とする
- ・ 年度毎の再応募も認める

4. 活動実績

本プロジェクトに応募、採用されて行われた活動 (研究) を以下に示します。詳細はそれぞれ本号の記事となっていますのでそれらにもぜひお目をお通しください。